

産業成長戦略の実施計画(線表) (平成31年度の新規項目等) (案)

・農業分野	1
・林業分野	3
・水産業分野	4
・商工業分野	7
・観光分野	10
・産業間の連携戦略(連携テーマ)		
起業や新事業展開の促進	12

分野	農業分野
----	------

戦略の柱	1 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化
取組方針	5 畜産の振興

◆具体的な取り組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取り組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【農24】 ◆次世代こうち新畜産システムの実証と確立(H31拡充)	<p>環境対応型施設の導入を推進するため、臭気対策を中心とした環境負荷軽減のための新技術の情報収集、および有効性を検証・導入の推進</p> <p>IoTを活用した家畜管理による生産性向上を推進するため、肉用牛繁殖経営における活用方法の検討と実証試験の実施</p>	モデル農家戸数	<p>①0(H29) ↓ 2戸(H31)</p> <p>②0(H29) ↓ 11戸(H31)</p>	<p>環境新技術の情報収集、先進地事例調査、環境対策技術会議の開催</p> <p>県畜産振興課、畜産試験場：先進事例、技術情報の収集 養豚農家、JA四万十、家畜保健衛生所：先進地事例調査 県畜産振興課、市町村、関係団体、有識者：各地域、各農家の実状に合った環境対策の検討</p> <p>環境新技術の有効性検証 → モデル農家での検証 → 環境新技術の普及</p> <p>県畜産振興課：環境新技術の導入に伴う対策を検討 畜産試験場：環境新技術の実証試験、データ収集</p> <p>県畜産振興課、家畜保健衛生所、市町村：モデル農家での新技術の検証(データ収集)、対策技術導入支援</p> <p>IoTシステムの活用による生産効率の改善</p> <p>県畜産振興課、畜産試験場、家畜保健衛生所：導入可能なIoTシステムの検討、コスト試算等 畜産試験場：IoTシステム実証試験</p> <p>現地実証による有効性の確認</p> <p>モデル農家でのIoTシステムの検証(データ収集)</p>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【農●】 ◆多様な農産物の新たな販売体制の強化(H31新規)	本県農産物の優れた逸品の外商強化や中食・外食等の業務需要の販売拡大を図るため、H31年4月にオープンする大規模直販所を活用して多様な販売の実現を目指す	大規模直販所への出荷者数	800人(H30) (現とさのさとへの出荷者) ↓ 1,500人	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 出荷者・出荷量の確保と生産拡大への支援 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>農業団体: 現とさのさと出荷者や生産者グループ、法人組織へのアプローチによる出荷者の確保、JA生産奨励事業の周知徹底による生産拡大への誘導等</p> <p>県産地・流通支援課、地域農業推進課: 農業団体が取り組む新たな生産者の掘り起こしへの支援、販路拡大PT、加工業務PT、集落営農組織での大型直販所向け生産・出荷に向けた検討</p> </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 販売拡大と産地情報の発信支援 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>農業団体: 多彩な品揃えや食べ方提案、生産者との交流機会創出など来客数増加につながる店づくり、飲食店、加工業者等実需者への営業活動と、カタログギフトを活用した販売展開等</p> <p>県産地・流通支援課: 卸売会社の営業力を活用した業務開拓支援、東京・大阪の園芸分室による販促支援や地産外商公社との連携支援</p> </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 生産、販売のマッチング支援 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p>農業団体: スケールメリットを活かした効果的な集荷、流通方法の検討・改善、消費者情報のフィードバックの徹底と新品目や販売方法の提案等</p> <p>県産地・流通支援課、地域農業推進課: ワーキングチームへの参画による農業団体の取組支援</p> </div>				

分野	林業分野
----	------

戦略の柱	1 原木生産のさらなる拡大
取組方針	2 持続可能な森林づくり

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【林06】 ◆再造林への支援と低コスト育林の推進(H31拡充)	今後増加することが見込まれる皆伐跡地の適切な更新を図るため、再造林等への県単独事業による支援を実施する また、森林所有者の費用負担を軽減するため、新たな知見などを踏まえた造林・保育の低コスト手法を検討・普及する	再造林面積	220ha(H26) ↓ 227ha(H28) ↓ 400ha	<p>再造林への支援</p> <p>林業事業体: 再造林の補助制度を活用した伐採跡地の更新 県木材増産推進課: 更新に必要な再造林への支援</p> <p>推進体制の構築</p> <p>県木材増産推進課: 再造林推進協議会の設置 林業事業体: 再造林推進員の設置</p> <p>検証・見直し</p> <p>県木材増産推進課: 成果の検討・見直し</p> <p>低コスト造林の検討、推進</p> <p>林業事業体: 低コスト造林・一貫作業システムの実施 県木材増産推進課・森林技術センター・各林業事務所: 低コスト造林・一貫作業システムの促進、育林方法の手法の検討、普及・指導</p>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【水●】 ◆高知マリンイノベーションの推進による操業の効率化(H31新規)	漁業者の高齢化や担い手不足に歯止めをかけるため、漁業のIoT化等を推進することで操業の効率化や経営の安定化を図る	①土佐黒潮牧場の高機能化に必要な機器等の選定 ②漁場予測システムや出漁判断情報等の開発件数 ③急潮及び赤潮発生予測手法の開発 ④産地市場のスマート化に資する機器等の導入件数	① -(H30) ↓ 機器2種選定(H31) ② -(H30) ↓ 2件(H31) ③ 2件(H30) ↓ 2件(H31) ④ -(H30) ↓ 3件(H31)	①県漁業振興課、県水産試験場、県漁業指導所：黒潮牧場への魚探ブイやソナー等の機器設置試験の実施と結果の検証、漁業者による評価結果等を参考に黒潮牧場への本格展開を推進 ②県水産試験場、県漁業振興課、県漁業指導所：海況データ等を活用したメジカ漁場予測システムの開発やキンメダイにおける出漁判断情報の提供に取り組む等、釣り漁業の操業の効率化を推進 ③県水産試験場、県漁業振興課、県漁業指導所：定置網漁業における急潮や養殖業における赤潮の発生予測手法の開発に取り組むことで、漁業者の経営の安定化を推進 ④県水産政策課、県漁業指導所：産地市場への自動計量システムの導入を進める等、スマート化を推進	魚探ブイの設置 200m潮流データの検証 中央部における赤潮 芸東における急潮予測 自動計量システムの導入	漁業者による評価結果等を参考に本格設置 レーダー、ソナーの設置 キンメダイ漁における出漁判断情報の提供 メジカ漁場予測システムの開発、提供 西部における赤潮発生予測手法の開発、確立 土佐湾における急潮予測手法の開発、精度向上 自動計量システム他市場への展開、アシストスーツの実証試験、電子入札や入港予測システムの検討	評価結果等を参考に本格設置 出漁判断情報の精度向上 より精度の高い漁場予測の実施	

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【水●】 ◆企業誘致の促進や新たな漁法の導入による生産量の増大(H31新規)	定置網への企業誘致に向けた未利用漁場に関する情報の発信 活餌供給用イワシの安定的な確保に向けた土佐湾への火光利用まき網の導入	①未利用漁場への企業参入 ②火光利用まき網の試験操業実施回数	①-(H30) ↓ 4漁場に参入(H31) ②-(H30) ↓ 5回	定置漁場調査 県漁業管理課：県内3カ所の定置網未利用漁場を調査	企業誘致のための営業活動等の実施 県漁業管理課：漁場調査の結果をもとに県内4カ所の定置未利用漁場への企業誘致に向けた営業活動を実施 活餌供給に向けた火光利用まき網の導入 委託によるまき網試験操業の実施			



分野	水産業分野
----	-------

戦略の柱	2 担い手の育成・確保
取組方針	1 担い手の育成

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【水●】 ◆高知県漁業就業支援センターの設置による担い手対策の抜本強化(H31新規)	相談窓口や支援制度の全体像が分かりにくい、就業後のフォローアップが十分でないといった課題に対応するため、就業希望者を総合的に支援する新たな体制を整備し、一元的な支援体制の整備に合わせて支援対策を抜本強化する。	新規就業者数	29名(H26) ↓ 44名(H29) ↓ 50名	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">相談窓口の一元化</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 漁業就業支援センター： 漁業就業希望者に対するワンストップ相談窓口の設置 </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">就業後のフォローアップまでを一貫して支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 漁業就業支援センター：就業相談、就業希望者の掘り起こし、新規研修事業の創設と支援、漁船アドバイザーによる研修終了生の漁船取得支援 市町村：漁業就業支援センターへの参画、研修事業への財政支援 漁協：漁業就業支援センターへの参画、営漁指導員による研修終了生への経営的な助言 県漁業振興課：漁業就業支援センターへの参画と財政支援 </div> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">取得漁船の活用</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> 漁業就業支援センター： 漁船の取得と研修での活用、研修終了生へのレンタル </div> </div>				




分野	水産業分野
----	-------

戦略の柱	2 担い手の育成・確保
取組方針	1 担い手の育成

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【水●】 ◆新規就業者の経営の安定化に向けた営漁指導員の配置、育成(H31新規)	漁業者に対して経営指導を行う漁協職員(営漁指導員)を県内6ブロックに配置し、漁業者の経営安定を図る。 漁協と県は、営漁指導アドバイザーの設置、研修会の開催、先進地視察などを通じて営漁指導員を育成する。	営漁指導員の配置人数	- (H26) ↓ - (H30) ↓ 6名	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 漁協: 営漁指導員を各ブロックに1名配置 営漁指導員: 定期的に新規就業者をはじめとする漁業者のもとを訪問し、経営指導を実施 </div> <div style="text-align: right;">  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> 漁協: 研修会や先進地視察を開催し、営漁指導員の育成を図る 県水産政策課: 営漁指導アドバイザーを委嘱するとともに、営漁指導員育成のための研修会や先進地視察の開催を支援 営漁指導アドバイザー: 営漁指導員から取組状況を把握し、助言・指導 営漁指導員: 営漁指導アドバイザーと定期的に情報共有して助言を受けるとともに、研修会の受講や先進地視察への参加によりスキルアップ </div>				

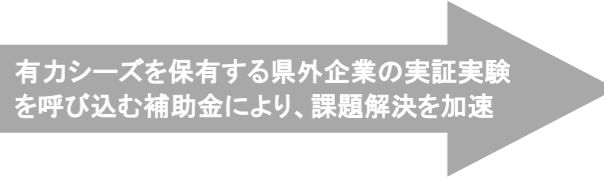
分野	水産業分野
----	-------

戦略の柱	5 活力ある漁村づくり
取組方針	2 交流人口の拡大

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【水32】 ◆遊漁や体験漁業の振興(遊漁船業等の振興)(H31拡充)	遊漁等の振興を図るため、豊かな海洋資源等を生かした遊漁船業や体験漁業等の取組みを支援し、またその旅行商品化を推進する。	遊漁や体験漁業の旅行商品化・磨き上げをした数	- (H27) ↓ 5件(H30) ↓ 5件(H31) ↓ 計10件	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 県漁業振興課、県漁業指導所: 実態やニーズに基づく振興策の検討、遊漁船業者の組織化、整備への支援(支援制度の拡充、基盤整備等)、アドバイザーの設置、新たな観光資源の発掘 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 県水産政策課、県漁業指導所: 実態調査等に基づく振興策の検討、整備への支援(支援制度の拡充、基盤整備等)、アドバイザーによる助言、遊漁船業等を紹介するホームページの作成、新たな観光資源の発掘 </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> 県水産政策課、県漁業指導所: 遊漁船業等の旅行商品化と旅行エージェントへの売り込み、インバウンド対応や新規就業等を支援 </div>				

分野	商工業分野
----	-------


戦略の柱	2 Society5.0の実現に向けた産業集積と課題解決型産業創出の加速化
取組方針	2 課題解決型産業創出の加速化

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【商●】 ◆Society5.0関連の実証実験促進による課題解決や産業(技術)集積の加速化(H31新規)	Society5.0関連実証実験を促進する補助金の創設により、県内の課題解決を加速化するとともに、関連企業(技術)の集積を促進	IoTプロジェクトの創出件数	- (H27) ↓ 21件(H28~H29累計) ↓ 30件(H28~H31累計)	<div style="text-align: right;">  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 県産業創造課 : ・Society 5.0関連実証実験を促進する補助金により、県外で成功している有力なシーズを保有する県外企業等の実証実験を本県に呼び込み、県内の課題解決を加速するとともに、関連企業(技術)の集積を促進 </div>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【商●】 ◆「土佐和紙総合戦略」の実施 (H30新規)	「土佐和紙総合戦略」で取りまとめた4つの基本方針に基づき、土佐和紙の振興を図る ・土佐和紙の原料確保 ・用具の確保と土佐和紙生産者の後継者育成 ・土佐和紙のPR・販売促進・新製品開発 ・土佐和紙文化の発信と無形文化遺産登録	①原料生産面積 ②後継者育成研修修了生(累計) ※H35までに11名修了 ③土佐和紙販売額 ④技術保持団体 ※H32年度に1団体設立	①4.6ha(H28) ↓ 4.8ha(H31) ②2名(H29) ↓ 2名(H31) ③5.9億円(H29) ↓ 6.2億円(H31) ④-	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 土佐和紙の原料確保 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 高知県手すき和紙協同組合、県工業振興課： ・原料生産者と土佐和紙生産者との意見交換会の実施 ・こうぞ生産グループの組織化、既存グループの活動強化 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 県工業振興課： ・こうぞ栽培が可能な土地の情報収集、あっせん </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 用具の確保と土佐和紙生産者の後継者育成 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 県文化財課：用具製作技術者の養成研修への支援 県工業振興課：土佐和紙職人の後継者育成研修への支援 </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 土佐和紙のPR・販売促進・新製品開発 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 県工業振興課：見本市への出展支援や小売店でのフェアへの参加によるPR、土佐和紙製品の県関係施設等での販売支援 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 県紙産業技術センター、県工業技術センター：土佐和紙の特徴を活かした新製品開発と企業への技術支援 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 25%;"> 県工業振興課： 土佐和紙認証制度に向けた情報収集等 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 40%;"> 県工業振興課： 認証制度の検討・創設 (検討会など) </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 25%;"> 県工業振興課： 認証制度の運用 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 土佐和紙文化の発信と無形文化遺産登録 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 県文化振興課：県立施設等での土佐和紙の活用や企画展の実施 県文化財課：土佐和紙保存会の活動支援と保持団体の設立に向けた支援 </div>				

分野	商工業分野
----	-------

戦略の柱	3 絶え間ないものづくりへの挑戦
取組方針	7 地域商業の活性化

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【商●】 ◆インバウンドとキャッシュレス化に向けた環境整備(H31新規)	[中心商店街への外国人観光客の受入れ] ・事業者等を対象に、キャッシュレスについてのセミナーを県内7ブロックで開催し、キャッシュレス化への理解を深めていくとともに意識の改革を図る。	セミナー参加者数	- (H30) ↓ 1,000人					
							中心商店街への外国人観光客受入れ支援 	
							県経営支援課: ・県内7ブロックでの キャッシュレスセミナー	

分野	観光分野
----	------

戦略の柱	1 戦略的な観光地づくり
取組方針	1 歴史、食、自然を一体的に連動させた戦略的な観光地づくり

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【観●】 ◆磨き上げてきた「食」や「歴史」の観光資源に加えて、「自然&体験キャンペーン」を通じた観光資源の磨き上げと観光クラスターの形成(それぞれ外国人受入対応を含む)(H31新規)	自然景観や自然・体験型の観光資源から新たな経済効果を生み出す新資源をハード・ソフト両面にわたって支援する各エリアの自然景観やビュースポット等と地域の体験プログラムと、歴史や食等の観光資源とが一体になった観光クラスターを形成し、周遊を促進する	①自然・体験をテーマにした自然景観、体験滞在型観光施設、体験プログラムの整備 ②観光クラスターの整備数	①-(H30) ↓ 28ヶ所以上 ②-(H27) ↓ 15ヶ所(H30) ↓ 20ヶ所以上	<p>博覧会に向けた歴史資源のリアル化と観光クラスター整備 → 自然・体験型観光資源の磨き上げと観光クラスターの形成</p> <p>県観光政策課、地域観光観：各地域における歴史資源のリアル化・周遊コース(観光クラスター)づくりに対し、アドバイザーの派遣や財政的な支援などを行い時局的な観光振興につなげる</p>				
【観●】 ◆民間活力を積極的に導入した観光地づくり(H31拡充)	市町村物件と観光開発の意向がある有望民間企業のピックアップを進め、マッチングの機会を拡大し民間活力を導入した観光振興を図る	民間活力の導入件数	-(H30) ↓ 3件	<p>市町村物件と民間企業とのマッチング機会の拡大</p> <p>観光拠点等需要調査の実施、民間企業への個別セールス、ファムツアーの実施など</p>				

分野	観光分野
----	------

戦略の柱	1 戦略的な観光地づくり
取組方針	2 官民の一層の連携による広域観光組織の体制及び機能の強化

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【観05】 ◆広域観光組織の機能強化(H31拡充)	広域観光組織が地域の観光地づくりをマネジメントしていくために必要な事業を展開するための体制づくりや周遊観光の推進、「土佐の観光創生塾」の開催や地域コーディネーターの配置による広域観光職員のスキルアップなど、広域的な観光地づくりを総合的に支援する	①広域観光組織の法人化 ②嶺北地域の主要観光施設及び主要宿泊施設の入込数	①3か所(H27) ↓ 3か所(H28) ↓ 5か所 ②主要観光施設 対過去3か年平均 20%増(H31) 主要宿泊施設 対過去3か年平均 10%増(H31)	<p>広域観光組織の総合的な支援 → 土佐れいほく博開催への支援</p> <p>県地域観光課：広域観光推進事業費補助金による広域観光組織の機能強化支援や、周遊観光の推進等の支援 ・広域観光推進事業(組織自律化支援、ステップアップ支援 等) ・地域博覧会の開催支援(地域への誘客促進支援、認知度向上支援、受入体制の整備支援 等)</p> <p>県地域観光課：「土佐の観光創生塾」の開催や地域コーディネーターによるOJT支援を通じた、広域観光組織職員の観光商品造力やセールス等のスキルアップ支援</p>				

分野	観光分野
----	------

戦略の柱	2 効果的なセールス&プロモーション
取組方針	2 効果的な広報・セールス活動の展開

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【観●】 ◆「自然・体験型観光キャンペーン」の開催(H31新規)	2020年が近づくにつれ全国的にスポーツ振興や自然体験の機運が盛り上がってくる事が予想されること、また県内ではキャンプ場が整備されるなど自然を生かした観光施設やスポーツ拠点が順次整備されていくことなど、県内外の流れを踏まえ、自然景観や自然を活かした体験を前面に出した全県的な観光キャンペーンを展開することとし、これまで整えてきた歴史、食とあわせて観光基盤を整備しプロモーション活動を展開することで、持続的な観光振興につなげていく	キャンペーンサイトのアクセス数	- (H30) ↓ 75万PV ※H31.2月から運用開始	<p>キャンペーンの開催</p> <p>県観光振興部、市町村、(公財)高知県観光コンベンション協会、民間事業者:関係者の協働によるキャンペーン等の展開</p> <p>プロモーション</p> <p>県観光政策課、(公財)高知県観光コンベンション協会:幕末維新博の検証と全国的な機運の盛り上がりを活かした県内外のプロモーション活動の実施</p> <p>旅行会社向けのセールス、キャンペーン&プロモーション</p> <p>県観光政策課、(公財)高知県観光コンベンション協会:キャンペーン展開などに合わせた適切なセールス活動の実施、旅行会社の種別に合わせた販促活動の提案、時機を捉えた効果的な誘客プロモーションの実施</p>				

分野	連携テーマ《起業や新事業展開の促進》
----	--------------------

戦略の柱	1 起業に向けた準備段階から事業プラン磨き上げまでの一貫サポート
取組方針	1 起業（第二創業含む）に関する総合的なサポート

◆具体的な取り組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取り組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【起●】 ◆高知県の課題解決に資する事業創出を行うスタートアップの呼び込み(H31新規)	高知県の課題解決に資するスタートアップの創出に向けて、経験や技術を有する都市圏の起業家と高知県内の起業家等が協働し、高知県をフィールドにした事業開発を行うプログラムを実施する。 都市圏起業家チームに県内起業家等がメンバーとして参画し、先進的な知見を得ながら事業構築を行う。	課題解決型スタートアップ事業創出(MVP段階)	- (H30) ↓ 5件	<div style="text-align: right;"> 課題解決型スタートアップ事業の創出 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>県産学官民連携・起業推進課：高知県の課題解決に資する事業を行うスタートアップを創出するプログラムの運営</p> <p>産業支援機関：事業創出(MVP段階)後の伴走支援</p> <p>県関係部局：課題提供の他、フィールドワークの際の協力等</p> </div>				
【起●】 ◆中長期的な起業家人材の育成(H31新規)	中長期的な起業家人材の育成、確保に向けて、学生に起業家マインドを持ってもらうため、実際に「起業」までのステップを体験する事業開発プログラムを実施する。	起業家育成プログラム導入校数	- (H30) ↓ 3校	<div style="text-align: right;"> 起業家教育プログラムの実施 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>県産学官民連携・起業推進課：各関係機関と調整を図り、高等学校等でのプログラムを運営</p> <p>高等学校等：プログラム受け入れ体制構築</p> </div>				